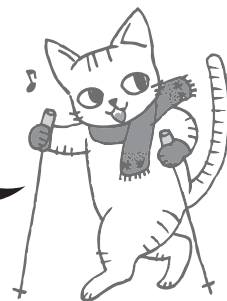


ERIS マークの付いた行事は
「えりす いしかりネットテレビ」でもご紹介しています。
あわせてご覧ください! <http://www.i-eris.tv/>



○市民の市民による晴れ舞台 ERIS

今年で55回目の開催となる石狩市民文化祭。協賛事業である10月9日(土)のオータムコンサートに始まり、11月7日(日)まで市内全域の各会場でステージ発表や展示が行われました。



11月7日(日)の厚田会場。区内小学校の全児童による合唱。



11月7日(日)の浜益会場。舞台では踊り、太鼓、カラオケのほか、演劇グループ「浜益小劇場」の公演もありました。



10月22日(金)～24日(日)の展示部門(花川南コミセン)。このほかにも、23日(土)・24日(日)に花川北コミセンで舞台部門が行われました。



「あいはら」店主の相原武典さんが腕をふるった石狩鍋を味わう都民の方々。お客さんの中には、昨年同イベントで食べた石狩鍋の味が忘れられず再度訪れてくれた方も。

○世田谷駅前で石狩市をPR

10月30日(土)・31日(日)の両日、東京都世田谷区で開催された「せたがや駅前 楽市楽座」で、昨年に引き続き、観光協会や石狩鍋復活プロジェクト「あき味の会」のメンバーらが石狩鍋や石狩市の特産品を販売。あいにく、台風の影響による悪天候でしたが、石狩市出身者らでつくる「東京石狩会」「関東浜益倶楽部」の方の心強いお手伝いもあり、石狩市を大いにPRしました。

○図書館まつりで小学生が1日図書館長

10月30日(土)・31日(日)にわたって開催された石狩市民図書館まつりでは、今年もおはなし会や絵本パフォーマンス・人形劇など催し物がいろいろ。中でも初日は、1日図書館長として4人の小学生—石狩小学校6年の尾関佳宏君と北條紅葉さん、八幡小学校6年の石崎瑞穂さんと佐々木紗英さんが登場。オープニングセレモニーで任命式を受けたあと、4人は「おはなしのたまご」を見学したり、館内を回って来場者にあいさつしたり、貸し出し業務を手伝うなど、1日忙しく図書館長業務に従事していました。

本が大好きという尾関君(写真左)は、1日図書館長になって「今日はカウンターの内側や事務所の中を見たい」と楽しみにしていました。



◎厚田公園祭り^{ER's}

10月2日(土)、厚田公園内の厚田資料室前の広場で、区民企画のお祭りが開催。このイベントは、厚田公園のPRと、日ごろ厚田公園を訪れる多くの方々に感謝の意を込めるという思いから、今年初めて開催されたもので、会場は300人を超える観光客らで大いににぎわいました。ニンジン詰め放題やカボチャのプレゼントのほか、望来豚を100%使用した三色そばろ井やくし焼きなどが大人気。イベントを企画した実行委員会の佐藤勝彦さんは「来年も開催したい」と話していました。



^{ER's}

◎地域も学校も越えた若者たちの祭典

11月13日(土)、中高生の居場所づくりとして実施した「ヤングフォーラム2010」。市内の中高生がアートウォームに集まって意見を交換したり、寸劇・ダンス・音楽を披露しました。その中でも総合司会を務めた石狩翔陽高校3年の渡邊有希菜さんは、「ポスターで司会を募集していたので応募しました。今日は緊張しましたが、前から挑戦してみたかった司会だったので、とても楽しかった」と笑顔で答えてくれました。なお、市内中高生の生徒会代表者で組織する「IYP」による「中高生しゃべり場」については、広報いしかり1月号でもご紹介しますので、どうぞ楽しみに！



「チャレンジステージ」と題して、市内の中高生7グループがパフォーマンスを披露。この日は来場者による投票で新設児童館「こども未来館」の愛称が「あいぼーと」に決定しました。

◎市内5カ所で初の議会報告会

11月8日(月)～12日(金)にわたって、市議会では各地域で議会報告会を開催しました。議会の運営状況や市政の取り組みについて、議員自ら直接市民に説明するもので、今回が初めての試み。平成21年度の決算特別委員会の報告を中心に、市の財政やごみの問題などについて報告した後、意見交換の時間が設けられ、まちのインフラ整備や特別支援学校の設置などについて積極的に意見が交わされました。



11月10日(水)、八幡コミセンで行われた議会報告会。

◎地図とイシカリをテーマにトーク!

石狩市民図書館10周年記念事業の一環として、10月17日(日)に同館でギャラリートークや「地図を巡る冒険」と題したフォーラムが開かれ、ジオグラファーで立命館慶祥中学校・高等学校の加藤敦史教諭と、いしかり砂丘の風資料館の工藤義衛学芸員が講演。最後はパネルディスカッションも行われ、聴衆からも積極的に質問があるなど、地図への関心の高さがうかがわれました。10月5日(火)～23日(土)にかけて、石狩を中心とした地図の展示も同時開催されました。



加藤敦史さんは「地図で知り、地図であそぶ」楽しさを講演会で披露。

◎浜高 60年の輝かしい歴史に幕^{ER's}

10月23日(土)、来年3月で閉校となる浜益高校で閉校記念式典が行われました。式典は卒業生や旧職員など、200人を超える出席者に温かく見守られながら執り行われ、最後の卒業生となる沼田香純さんが惜別のことを述べました。沼田さんは先輩たちへの感謝の気持ちと共に、「母校がなくなると思うと寂しい気持ちでいっぱい。卒業までの1日1日を大切に過ごしたい」と語りました。

